

ダンボールで生ごみの堆肥化を！

【問い合わせ先】
環境課
☎0887-53-1063

家庭でもできる可燃ごみの減量法として、「ダンボールコンポスト」での生ごみの堆肥化をご紹介します。生ごみが減ると、使用のごみ袋の削減にもつながります。「堆肥を作るついでに生ごみを減らす」くらいの気持ちで始めてみましょう！

◆ダンボールコンポストとは

腐葉土と米ぬかを入れたダンボールを使い、微生物の働きによって生ごみを分解し、堆肥を作るものです。ダンボールは通気性があり、コンポストの中で働く菌類の活動に必要な空気の循環に適しています。畑などに直接生ごみを埋めるより分解が早く、臭いもほとんど出ません。

◆ダンボールコンポストに必要なもの

・ダンボール箱 ・ガムテープ ・ダンボールを設置する台 ・腐葉土 ・米ぬか

◆ダンボール容器の作り方

虫の侵入を防ぐため、ダンボールの角やすき間は、ガムテープでふさいでください。今回はダンボール箱の上部を切り取ってフタにしていますが、布をかぶせてからヒモで縛り、フタの代わりにしてもかまいません。また、箱を補強するため、底の部分はダンボールを二重にしています。



《ポイント》
虫が入らないよう、フタはピッタリ閉まるようにしましょう。万が一、虫が発生した場合は、ダンボール全体をビニールで覆い、1～2日放置するだけで駆除ができます。
※ 虫自体は無害ですので、そのまま使用できます。

◆コンポストの置き場所

雨の当たらない、日当たりが良く風通しの良い場所（ベランダや軒下）に置いてください。通気性を良くするため、ブロックや角材等の上に置くこともおすすめです。また生ごみを入れた後は、必ずフタをしてください。



◆中の土の作り方

コンポストの中身は腐葉土と米ぬかです。腐葉土と米ぬか以外に、「ピートモス」「もみ殻くん炭」（ホームセンター等で購入可）でも土を作ることができます。コンポストには、腐葉土と米ぬかを3：2の割合で入れ、よくかき混ぜてください。



◆生ごみを入れる

水を軽く切った生ごみを入れます。処理できる量は土の量にもよりますので、最初は様子を見ながら生ごみを入れるようにしてください。生ごみを入れた後は、空気を入れるようによく混ぜてください。発酵してくると、箱の中の温度が50度～60度になります。温度が上がらない場合は水分不足の可能性がありますので、握って団子になる程度の水を追加して、よく混ぜてください。



《ポイント》
大きな骨や根菜類は分解しにくいので注意してください。生ごみは大きなかたまりよりも、細かくした方が早く分解されます。ごみを入れない日でも、かき混ぜてあげることで菌の動きが活性化します。また、カビが生えることがありますが、土に混ぜ込んで問題はありません。寒い時期は菌の活動が穏やかで分解に時間がかかります。



◆堆肥の完成

2～3カ月の間、生ごみを処理することができます。土がダマのようになり、生ごみの分解が遅くなったらやめ時です。最後の生ごみ投入から1～3カ月熟成させれば、良質な堆肥の出来上がりです。完成した堆肥は長期保存できますので、花や野菜の植付けなどに置いても問題ありません。

四国アイランドリーグplus 公式戦 in 土佐山田スタジアム

6月28日に土佐山田スタジアムで、四国アイランドリーグ公式戦（高知ファイティングドッグス VS 徳島インディゴソックス）が開催され、多くの方々が観戦に訪れました。

熱戦が繰り広げられ、結果は7－0で高知ファイティングドッグスが勝利しました。特に、2者連続のホームランが飛び出した際には、最高潮の盛り上がりを見せていました。



消防の誇りを胸にー 県消防操法大会で山田分団が活躍

6月28日に高知県消防学校で、令和8年度高知県消防操法大会が開催され、香美市消防団山田分団がポンプ車の部に出場しました。

山田分団は大会に向けて、今年2月から訓練を開始し、日々研さんを重ねてきました。残念ながら今年度は、天候の影響により内容が縮小されたものの開催となりましたが、山田分団の選手の皆さんは、これまで積み上げてきた訓練の成果を十分に発揮し、香美市消防団の代表として、全力を尽くしました。またその姿勢は、地域防災の要としての高い士気と、団員相互の強固な連携を示すものでした。

今回の大会で得た経験を糧に、今後も地域の安全・安心を守るために貢献していただけることを期待しています。



防災会が資機材を整備 (コミュニティ助成事業)

コミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業です。地域のコミュニティ活動の充実を図ることで、地域社会の健全な発展を目的としています。各地域での活用をご検討ください。

【令和8年度の実績】

西本町一丁目防災会は、宝くじの助成（地域防災組織育成事業）により、資機材（「電動式浄水器2台」「ポータブル電源・ソーラーパネル 2台」）の整備を行いました。これらの備品は、西本町一丁目防災会の活動で使用されます。



▲ポータブル電源・ソーラーパネル ▲電動式浄水器

神池特産「はちまき大豆」の 限定味噌が誕生！

香美市で古くから受け継がれてきた伝統作物を活用した、新しい味噌づくりが進んでいます。

7月15日に集落活動センターひらやまで、物部町神池地区の特産である「はちまき大豆」を使った限定味噌の商品化に向けた試食会が開催されました。参加された方からは「甘みがあって美味しい」「ご飯によく合う」などの声があって、とても好評でした。

香美市ならではの新たな特産品として、多くの方々にお届けできるよう取り組みを進めており、今後は、いただいた意見を参考に改良を重ね、「高知うまいもん大賞」への応募を予定しています。

